Clinical Engineering 投稿に関するお知らせ

（2024 年 4 月号改定）

月刊「Clinical Engineering」では，下記の要領で読者の皆様からの投稿をお待ちしております．

募集原稿区分・内容

【医療機器安全性レポート ー臨床の現場から ー】

臨床現場で実際に体験した医療機器の不具合，あるいは普段気付きにくい故障や珍しい故障など，掲載により関係者に注意を喚起し，かつ臨床工学技士の行った対策を記載することによって臨床工学技士の活動を紹介する．

投稿に際しては所属機関における所定の手続き（査読，承認など）を経てください．また，内容が医療法・薬事法などに基づいた報告を必要とする場合は，投稿前に処置してください．

投稿内容が次の①～③のおそれがあると査読委員が判断した場合は不採用となることがあります．

①特定の個人や団体を中傷もしくは広告宣伝するもの．

②掲載することが訴訟などの法的事態に発展するおそれがあるもの．

③その他，小誌への掲載が不適切であると判断したもの．

なお，投稿原稿に記載された医療機器などを取り扱う企業に，内容や企業名・製品名などの記載について編集部から確認を行うことをあらかじめご了承ください．

◎書き方：

1. 実際に起こった不具合の例
2. 原因 – その不具合の原因の詳しい説明
3. 処置 – その不具合にどう対処したか
4. 教訓 – その不具合を通じて学んだことで広くほかの読者に伝えたいこと

以上を項目別に，具体的に述べる．

ページ数：刷り上がり 2 ページ（2600 字）以内

【わたしのアイデアボックス】

臨床現場の作業において，「作業がこんなに楽になった」，「こんなこともできるようになった」というようなアイデア．

◎書き方：

アイデアに関して，その実現方法や利用方法，それによって何がどのように改善されたのかなどを図解や写真入りで詳しく説明する．また，用意すべき道具や材料なども具体的に記す．

ページ数：刷り上がり 4 ページ（5200 字）以内

【研究レポート】

臨床工学に関連した研究報告．臨床現場で活用できる計測技術・機器および治療技術・機器の開発や改良研究，新しい機器管理や安全管理の方法や体制の実践的研究など．

ページ数：刷り上がり 5 ページ（6500 字，図表を含む）以内

【こんなことしてます セミナー紹介】

臨床工学技士や臨床工学技士を目指す学生に受講してほしいセミナーについて，セミナーを企画した理由，セミナーの特徴，一番 PR したい点を紹介．

ページ数：刷り上がり 2 ページ（2600 字）以内

【国際学会体験記】

海外での学会発表について，動機，準備から発表に至るまでの経緯（困ったことや失敗，解決方法）など，海外での学会発表を考えている臨床工学技士の参考になる体験を紹介．

ページ数：刷り上がり 3 ページ（3900 字）以内

【CE アラカルト】

上記のほか，日ごろ感じていることや困っていることなど．

ページ数：刷り上がり 4 ページ（5200 字）以内

執筆要領

①原稿表紙

1. 原稿区分（例：アイデアボックス），題名，著者名，勤務先（連絡先）住所・所属・電話番号・ファクシミリ番号，e-mail アドレスを明記する．
2. 共著の場合には，校正などの送付先（窓口となる方）を明示する．

②本文

1. 原稿は横書き，当用漢字，新かなづかいを用い，句読点は正確に記す．
2. 原則として難解な数式，特殊な用語，外国語はできるだけ避けて記述する．やむを得ず，特殊な学術用語を用いた場合には，必ず用語に肩番号（右肩*1 など）を付け，脚注を付ける．
3. 執筆者の所属施設で使用している独自の用語や表現などは使用せず，一般的な用語・表現で記述する．
4. 外国語は，適訳がないか，一般化していないものを

Presented by Medical*Online

除き，できるだけ日本語表記とする．
5. アラビア数字，国際単位(SI 単位)を用いる．
6. 見出しは次のように記す．

1　2　3　大見出し
1-1　1-2　1-3　中見出し
1)　2)　3)　小見出し
①　②　③　箇条書き

③図表

1. 提出いただいた原稿をもとに小社で製作するため，できるだけ鮮明なものとする．
2. 図表の 1 点は原稿用紙 1 枚分(400 字)に相当する．

④図表の説明

1. タイトル以外に，図表の内容が一目でわかるような説明を日本語で付ける(写真は図の扱いとして，順番は図と写真とで分けない)．
2. 別紙に図のタイトルを一括して一覧にする．

⑤写真

1. 原則としてモノクロでの掲載．
2. カラー写真をモノクロ印刷する場合には，その旨記すこと．

⑥引用文献

1. 図，文章，研究データなど，他書からの引用については，必ず出典を明記のこと(著作権保護のため)．
2. そのほかの文献は，重要なもののみを厳選(原則は全体で 10 編以内)．
3. 引用箇所(引用順)に肩番号(右肩 1))を付け，本文の最後にまとめて示す．
4. 著者名：題名，雑誌・書籍名，巻：ページ，発行年の順に示す(例を参照のこと)．

(例)　1) 阿岸鉄三：血液浄化と水，クリニカルエンジニアリング 4 (1)：2-6, 1993
2) 堀川宗之：1 章 細胞から個体へ，新版エッセンシャル解剖・生理学，p10-20, 秀潤社，2009

⑦その他

すでに他媒体で掲載されている，またはこれから投稿する予定のある原稿の場合は，その旨を必ずご連絡ください．編集委員会で別途協議させていただきます．また，紙媒体だけでなく電子媒体でも掲載させていただきますことあらかじめご了承の上ご投稿ください．

●採否の決定

原稿受付日から 2 ～ 3 カ月後くらいに採否の通知をいたします(掲載料は無料です)．採用分につきましては，原稿の加筆・訂正・削除をお願いすることがあります．また，本誌に適した用語や表現への変更をお願いすることがあります．あらかじめご了承ください．

●原稿送付・問い合わせ先

文字原稿はテキスト形式で，写真は 300 dpi 以上の解像度で，右の編集部までメール添付でご送付ください(添付ファイルの容量は全体で 2 MB 未満としてください)．また大容量のデータをメールでお送りになる場合は，事前に編集室までご連絡ください．

なお，電話でのお問い合わせは，口頭でのやりとりによって生じる誤解等を防止するためお受けできません．ご了承ください．

(株)Gakken メディカル事業部
「Clinical Engineering」編集室宛
E-mail：ce-editor@gakken.co.jp

Presented by Medical*Online